

よさのうみ福祉会 広報誌

きょうと福祉人材
育成認証制度



2020年
9月1日
No.117

福祉よさのうみ

〈発行〉社会福祉法人 よさのうみ福祉会 〒629-2314 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600-6 TEL 050(3532)0601 FAX 0772(43)0606

障害のある人のゆたかな地域生活の実現を! URL <http://www.yosanoumi-fukushikai.or.jp>



オリジナルうちわが完成しました!

リフレッシュできました!

みねやま作業所

支援員 矢野 安代

6年前からみねやま作業所では「休みの日に遠出がしたい」「お買い物や楽しいことがしたい」という仲間の願いにこたえて、作業所が休みの土曜・日曜を開所して希望者に「余暇支援」をおこなってきました。コロナ禍でこの間できずにいましたが、7月23日の祝日にひさしぶりに各作業班で取り組みをすることとなりました。

よもぎ班はドライブとカラオケを楽しみ、クラフト班は、与謝野町男山の「お菓子の館」で自分で選んでお買い物をしました。お菓子班は、思い思いに好きな絵を描いてオリジナルうちわを完成させました。

リサイクル班は福知山の三段池公園を目指してドライブ。天候にも恵まれ、公園を一望できる場所ではふだん狭い空間で縮んだ体を思いきり伸ばして、「わー、気持ちいい!」と歓声が上がりました。所長が朝早くから準備してくれた「所長特製お昼弁当」に、仲間も大大満足!笑顔あふれる1日でした。

まだまだコロナ禍が厳しい状況の中ですが、仲間にとつて「余暇を楽しむ」とはただ楽しむのではなく「自分でやってみる」「新しい経験をする」などたくさん意味があるなと感じる一日となりました。



美味しかった手作り弁当

仕事をしています!

すまいるの平岡孝介です。僕は去年から農耕班で働いています。農業は雨が降らない日が続く時は水やりをします。水やりはポンプを使ってします。重たくて大変です。また、雨が降ってもその後の畑は地面がぐじょぐじょで歩きにくくて大変です。ジャガイモの収穫は大きいのが小さいのを土から掘り起こします。大変ですがワクワクして楽しいです。これからの目標はもっともっと大きな野菜を作りたいです。今後は白菜、大根、サツマイモをしつかりと育てて出荷できるように頑張ります。



枝豆とったどー!

仕事の楽しさややりがい

すまいる 農耕班 平岡孝介



たくさん持ってきてね!

はつぴいエコプラザ

みやづ作業所 くじら班

大山智恵子

みやづ作業所では、9年前からスーパー「フクヤ」さんの協力で、リサイクル回収作業「はつぴいエコプラザ」をしています。私は、始まったときから参加しているので、机やコンテナを出したり、みんなと協力して準備から片付けまでできるようになってきました。はつぴいエコプラザは、地域の人々がアルミ缶や牛乳パックを持ってきてくれるので、それを受け取って割引チケットを渡します。作業所から出ている人々に「ごくろうさま」と言われたり、あいさつができることがうれしいです。雨が降ったり暑い日や寒い日もあるけど、好きな仕事なので、これからもみんなと協力をして続けていきたいです。

ひまわり喫茶

夢織りの郷つむぎ ひまわり班

谷本美樹子



理事長、毎度ありがとうございます

私は、「つむぎ」のひまわり班に通っています。

毎週火曜日の午前中に施設内で「ひまわり喫茶」という喫茶店を開いています。飲み物もひまわり班特製「チーズケーキ」もどちらも100円です。チーズケーキは月曜日の午後から皆で作ります。「ひまわり喫茶」は皆楽しみにしてくれて、「明日、ひまわり喫茶あるん?」って聞きにきてくれます。

喫茶の時には、レジ係をしている私の手にお金を握らせてくれるので、それをレジに入れます。その時に仲間や職員さんから「美味しかった、またよろしくね」と言われるのがうれしいです。一度の喫茶で一万円以上の売上があります。今は、コロナウイルス感染予防のために喫茶カウンターの営業ができないですが、またレジ係をして皆の笑顔が見たいです。

コロナに負けず、がんばっていきー!!

ゆうゆう作業所 縫製班

水谷義則

坪倉佑樹

縫製の仕事をしています。

新型コロナウイルスの感染予防にマスクを作っています。最初は「売れるかな」と思っていたけど、明るい柄やカッコいい柄、おしゃれな柄といろんなマスクが売れてうれしかったです。ミシンの使い方は難しいけど、職員さんに教えてもらって少しずつ縫えるようになりました。自分たちが作ったマスクをたくさんのお客さんに喜んで使ってもらえることで、もっと作ろうとみんなで頑張っています。

マイクの「くりくり」で一枚500円で販売をしているので、気に入ったものがあればぜひ買ってほしいです。その他に、のれんやコースター、エコバッグも作っています。

こんな時だけど、コロナに負けずがんばろう!!



みんな買ってネ!!

私たちはこんな仕

がんばっています！
わたし！

夢織りの郷
いきいきマックス班

大野 満智子

現在マックス班は9名の仲間で構成されており、主に下請けでお弁当箱の組み立て作業をおこなっています。

もともとたくさん給料がもらえる仕事でした。10万円

は欲しいです。その給料をお兄さんの子どもに仕送りをしたい！今年はお母さんが亡くなってつらいけど、ここで暮らしているのだから私がいいます。つらい気持ちを仕事にぶつけて頑張ります。

皆で力を合わせてやったら作業が早くてきれいにできてそれがお店に売られてるのを見るとうれしい。もともと違う仕事を増やして他の商品もお店に置きたいです。



とても使いやすいですよ♪

全部が得意！全部が楽しい！

野田川共同作業所
夢かご弁当 長島 美和子



仕事楽しい～♪

私は夢かご弁当ができた時から働いています。盛り付けとか仕込みとか、配達をしたので夢かご弁当にきました。給料は時給250円にボーナスがあるからたくさんもらえてうれしい！給料は貯金して買いたい物がある時に使ってる。家に半分くらい渡してるよ。

夢かご弁当で楽しいのはお昼休みに仲間と一緒に「UNO」をすること。あと、ごはんの数を数えたり、盛り付けするのが楽しいよ。得意な事は仕込みと玉ネギのスライス、キャベツのみじん切りと掃除。全部得意です♡苦手な作業は特にないか？全部が楽しい！家ではカラオケをしたり、DVDを観て過ごしていて、家族と犬の散歩に行くのも楽しい。これからの夢は優しく笑顔で仕事すること！頑張ります♡

美味しい野菜はいかがですか？

支援センターろむ
てくてく班 山田 和希

てくてく班の仕事は資源回収と空き缶です。おとしからリフレかやの里の紹介で地域の農家さんの新鮮野菜の仕入れ販売を始めました。3年目の今年は京丹後の農家さんの野菜も仕入れています。福祉事務所や法人内の他事業所へ販売しています。

チラシ配布の時は言葉の説明がなくても解ってもらえるよう写真を撮るのせたりしてみんなで工夫しています。配達の際は窓口のベルを「チン！」と鳴らします。みんなが笑います。おもしろいです。建物にはエレベーターもあって好きです。よその人と出会って楽しいです。みんな優しいです。どの野菜も「おいしい」とよく売れます。みなさんてくてく班の野菜を買ってください。



ありがとうございました！

ドラッグストアで、商品の陳列と管理の作業をはじめました！

峰山共同作業所 潮岬 弘明



やりがいのある仕事です！

峰山共同作業所では、一般就労に近い作業として、2年前から丹後保健所や振興局の清掃作業をしています。

一般就労をめざしている仲間たちにとって、とてもやりがいのある作業です。

7月からはゴダイ大宮店で、商品の陳列や管理の作業を、火曜日と金曜日の週2回することになりました。作業に行くのは、一般就労を目指しているばかり達4名です。慣れない作業に苦労しています。賞味期限のチェックをしたり、マニュアルにそった作業をしています。

買い物に来られたお客さんにも見守られながら、がんばっています！！

「真心と味は変わりません」 〜リフレかやの里・森のレストラン〜

リフレかやの里

管理者 藤原 さゆり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、与謝野町からの要請を受けて4月11日〜5月31まで全館の営業を自粛していました。

6月よりホテル、浴場は、京都府のガイドラインに基づいて営業を再開しましたが、お風呂の入場制限をしなくてはならなかったり、アルコール消毒に手を取られるなど、今までにない困難が生じています。

レストランは、いままでのようなビュッフェスタイルでの提供が難しかったため、どのような提供の仕方ができるのか模索するのに時間がかかり、営業再開は7月11日からとなりました。

当面は、土日のみの営業とし、祝日やお盆、お正月等も場合によっては営業していくこととしています。

ランチビュッフェが人気のレストランなので、どのような形にすればお客様に喜んでいただけるか、スタッフで考え2段重ねの「御膳」に決めました。

6月中旬に、法人関係者での試食会と地域、農家、役場、商工会等、

外部の方による試食会をおこない、アンケートをとり、その意見を取り入れて、「旬菜御膳」が完成しました。

「旬菜御膳」は、予約制ですが、当日来られたお客様にもお食事が提供できるよう、リフレランチ(和・洋)、お子様ランチ、カレー、うどん、ピザ、ばら寿司等15種類の軽食メニューを用意しました。

いつの日か、ビュッフェスタイルでの提供が再開できることを願って、今は、Withコロナの社会で安全に提供できることを最優先し、引き続き、地元の食材と手作りにこだわったお料理で、心を込めたおもてなしをさせていただきたいと思っています。



自然災害にも備えて！土砂災害避難訓練実施

みやづ作業所 支援員 折戸 正朋

みやづ作業所では、1通常火災、2地震火災、3土砂災害と想定を変えて年3回避難訓練をおこなっています。昨年度から当日の朝、実際に起こった火災、地震、土砂災害のビデオを見て、講話を聞く事前学習をしてから訓練をおこなっています。

7月13日に、土砂災害を想定した訓練をおこないました。実際は避難準備情報等が発令されると、利用者には安全に帰宅をしているただくことになりませんが、今回は「朝から雨が降り続けているが、まだ警報は発令されていない。午後からまるでバケツをひっくり返したような激しい雨が突然降ってきた、裏山が土砂崩れのおそれが高まり緊急的に高い場所に避難する」という想定でおこないました。利用者は2階へ避難し、車椅子の利用者はリフト車に乗り込んだところで完了です。

この宮津においても2年前、土砂災害が発生しましたし、今年7月初旬には九州熊本地方で甚大な災害があったところです。利用者もテレビのニュースで見ていると思いますが、「土砂災害」といっても何がどうなるのか？何が怖いのか？どこへ逃げるのか？ということがわかりにくいようです。

今回は動画で実際の土砂崩れや、地滑り、道路が川のようになっていく様子を見て「だから高い所へ逃げないといけないんだ」と学んだことで見通しが持て、避難完了まで昨年度19分かかったのが今回は12分に短縮され、とてもスムーズにおこなうことができました。利用者からは、「動画は怖かったけど、災害に気を付けないといけないと思った」との感想がありました。



ビデオを見ての事前学習



慎重に避難します

みやび作業所・伊根の里・すまいる館を記念して

宮津 伊根エリア記念誌作成担当

ホームすみれ 主任 濃野 曉生

昨年は、みやび作業所が開所から30年、伊根の里が10年の記念すべき年でした。またすまいるも2年前に開設10周年を迎えるなどがあり、宮津・伊根エリア各事業所はこの二年間をこれまでの足跡を振り返る機会と位置付けていました。まずその記念として、昨年11月15日に各事業所設立記念イベントをみやび歴史の館にておこないました。

当法人理事長や家族会会長、支える会会長からの挨拶や利用者の皆さんの歌声など短い時間でしたが、各事業所の過去を振り返りながら未来への希望を形にできた良いイベントになったかと思えます。その思いをイベントだけで終わらせず形に残るものとして記念冊子を作成することにしました。

それぞれの事業所の歴史を辿るため、ご家族や過去に在籍された職員方の声を集め、利用者の皆さんが当時感じておられたこと、覚えておられることを聞き取りました。思った以上の時間を要しましたが、皆さんからいただいた言葉には、大変だったけど楽しくもあり未来への希望を持った当時の様

子が伺えました。

また、記念誌に使う写真選びでは、たくさん写真と並べて「これは縫製作業、これはじゃこ袋作業の風景だな」「これは〇〇さんだよねー若いねー」など一枚一枚を見るたびに感慨深い思いに浸りながら作業を進めました。

写真の中には、当時大勢の地域の方に協力してもらい開催されていた作業所バザーや今でも続いている地域資源回収のものもあり、改めて地域の皆様の中で作業所が育ってきたことを感じました。

利用者ひとりひとりのこと、これからの各事業所の未来のこと、たくさんさんの願いやつながりが詰まったこの記念誌を発行できたことをうれしく思います。

原稿の執筆をお願いした皆様には、快くご協力いただきましたことと大変感謝いたしております。ありがとうございます。



「あなたに出会えたから」

わたしにはかけがえのない「心友」がいます。彼女に出会ったのはもう二十年以上前。あの頃わたしは自分のことが好きではなく人とうまく付き合えていたか少し不安でした。群れるのが嫌いで一人で過ごすのも平気。「あの人変わってる」とよく言われたりも。別に気にしないさとそれなりに明るく元気に過ごしていた若かりし頃、高校時代からの唯一の理解者だった友人を通じて、福祉の仕事をして

いる彼女と知り合いました。

リレー随想



みやび作業所
主任 岡田 亜希子
主 岡田 亜希子

を知られていない」
の子達は地域に存在
がそれまで存在を知らな
かったこともあり「こ

いのね、などとよく
語り合いました。

で老人ホームを訪問して歌ったり、浜辺で夕日を見ながらワインを飲んだりと楽しい時間を過ごしました。一緒に過ごす時間の中で嫌いだっただ自分を好きになり、次第に頑なだった心も柔らかくなつていく気がしました。まさに彼女がわたしの「自己肯定感」を引き出してくれたと思っています。

「同じ福祉の道を」

一緒に過ごす中で彼女がボラン

ティアサークルに誘ってくれました。「たけのこクラブ」は、当時学校週休二日制が始まり、地域で過ごす場所がない支援学校の生徒の日中活動の場を支援するサークルです。この「たけのこクラブ」へ参加したことが、わたしにとっての大きな転機となりました。ボランティアとはいえず支援する立場になってみて感じたのは「楽しい」という気持ちと「この子達はどうして地域で過ごす場所がないのか」という疑問でした。実際近所の子供も参加していました

次回は
ワークセンター花音

主任 内田真奈美です。

相模原障害者施設殺傷事件から4年 事件を風化させないために

きょうされん全国理事

峰山共同作業所 管理者 山口 高志

元施設職員が入所者19人を殺害、入所者、職員合わせて26人に重軽傷を負わせた我が国における戦後最悪の事件「相模原障害者施設殺傷事件」から7月26日で4年が経過しましたが、現在においてもコロナ禍で繰り返される「命の選別」の問題やALS患者への囑託殺人事件など、「優生思想」にかかわる問題が次々と表出しています。

相模原障害者施設殺傷事件については、今年の3月16日には横浜地裁にて植松被告に対し死刑判決が出され、被告が控訴しなかったため死刑が確定。事件としてはこれで終結を迎えることとなりました。

しかし、入職当時「障害者が人間扱いされていない。かわいそうだ。」と感じていた植松死刑囚が、なぜ「障害者は不幸しか作り出さない」と思うようになったのか、なぜ「優生思想」そのものの考え方に染まり凶行に及んでしまったのか。裁判の判決文では「犯行動機の中核である被告人の重度障害者に関する考えは、被告人自身の

本件施設での勤務経験を基礎とし」と明記されており、神奈川県では第3者委員会を立ち上げ、施設における虐待の実態解明などに向けた取り組みが進められています。

このような取り組みも含め、事件を風化させることなく、二度と同じような事件を繰り返さないためにも、その環境や社会、制度の矛盾や問題について、国民的な議論を起こし、問い続けることが大切なのではないでしょうか。

利用者の生活を支えるために、 どんな時でもヘルパーは…

ヘルパーステーション 結

管理者 荒川 俊宏

ヘルパーステーション結では、「利用者の生活を支えたい」「利用者としてできることを一緒に増やしたい」「利用者の喜ぶ顔を共有したい」などめざす姿を明確にして具体的な支援をしています。また、障害を持った利用者が地域で暮らすために地域住民として求められるもの（ゴミの出し方等）をキャッチし利用者の方の暮らしがより良いものになるよう支援をしています。

ところが新型コロナウイルスの1月末からの急速な感染拡大により、利用者の生活や健康が脅かされる状況となりました。

感染者が分からず感染すると特定疾患を抱えている方や高齢者は急激に病態が悪化し、最悪の場合は亡くなってしまう。

ヘルパー事業所としては、医療的ケアが必要な方や重度心身障害者の方等への支援を毎日おこなっている関係もあり、利用者の生活を支え守っていくためには、「三密をさけ、感染しない、感染させない」といった対策を強く打ち出しました。利用者自身だけでなくヘルパー自身も不安や恐怖を感じながら、それを乗り越え支援にあた

らないといけません。利用者や家族が感染したとしても、ヘルパーは感染防止の対策をして支援にあたる使命を帯びています。しかし、マスクや消毒液が不足し、手袋や使い捨てエプロン、フェースシールド等も在庫がなく入ってこない状況が、6月末の緊急事態宣言が解除されるまで続きました。

医療的ケアが必要な方の中には、日中事業所やヘルパー支援をキャンセルされた方も出ました。利用者の楽しみを奪い、高齢のご家族の負担を増大させ、命を守る苦渋の選択をせざるを得ない状況を作り出してしまいました。感染拡大が、いとも簡単に、利用者主体の生活に影を落としてしまいました。このような状況にひるまず、みんなで支援の輪を広げ、安心して生活の主体者として生活が送れるよう頑張らねばと強く思うところで



ご寄付御礼

みなさまからのご寄付、誠にありがとうございます。

2020年6月18日～8月17日

(順不同・敬称略)

日下部みはる 星 幸敏
大槻 和之 有吉加代子
前川 嘉之

その他匿名でもたくさんのご寄付をいただいております。

『親のつづき』

生まれながら

作業所に入るまで



8月に次男として丹後で生まれ、4月からは夫の転勤のため家族で京都で暮らしました。京都市の健診で療育を受けたほうが良いと言われ、2歳からの1年間は週2回療育施設に電車を通い、アトピーや目の病気での通院もあったのでとても大変でした。

3歳で丹後に戻り保育所に入ったのですが、1年ごとに他の子どもさんとの差を感じ、学校は養護学校に決めました。アトピーや喘息で病院通いしながらの通学でしたが、4年生からスイミングを始めると、除去食を止められるくらい体調が良くなりました。5年生になると、友人の影響で他者への迷惑行為も無くなりました。

小さい頃から、テレビの音楽に合わせて鍋やボウルを叩くのが好きで、高等部に入ってから友人の誘いで「太陽たちの学校」という太鼓のサークルに参加し、今も楽しんでます。

みねやま作業所

仲間家族 徳田 富美子

作業所に入ってから

家ではおとなしくてしゃべらないですが、外ではとてもおしゃべりで、行った先で『楽しめる力』を持つているようです。「休みたい」と言ったことが一回もなく、バス通勤もできるようになり、時間に合わせて朝の用意も自分でできるようになって、助かっています。毎週水曜日には友達とゲームをするのが長年続いていますし、お給料も計画的に使えています。ずっと楽しそうなのでこのまま変わらず、と思いますが、将来のことを考えると親離れ・子離れが必要だと思っています。

(インタビュー 支援員 番場 弥生)



♪リズム感抜群の徳田さん♪

仲間用パソコン2台の寄付をいただきました！

みねやま作業所

管理者 村上 健一

今春に京都府グラウンドゴルフ協会丹後・与謝ブロック様よりデスクトップ・パソコンをご寄付していただきました。ウインドウズ10仕様で仲間が快適にパソコンを楽しむことができています。

去る7月4日午後、阿蘇シーサイドパークにおいて授与式が行われました。4月予定の協会総会時に奥田常務理事と村上が出席して授与式が行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの關係で総会が中止となり今回に至りました。

当日は協会から一井重信ブロック長と役員の方、またその日はグラウンドゴルフ大会が予定されておりその参加者約130名が授与式に参加されました。当法人からは村上が参加して目録をいただき、お礼の言葉を述べさせていただきました。

みねやま作業所では約20年前から仲間がパソコンを自由に楽しんでます。しかし年々バージョンが変わり、買い替えに多額の費用を必要としてきました。今回ご寄付をいただいたことで、仲間が安全・快適にパソコンを楽しむことができます。

編集後記

今年は新型コロナウイルスの影響でいろんなイベントや恒例の行事が中止になるなど予定の変更は振り回されている方が多いのではないのでしょうか？来年度大学受験を迎える高校3年生の私の息子もその一人。

ただでさえ大学入試センター試験が大学入試共通テストに変わり、知識だけでなく思考力、判断力、表現力を重視した問題に移行する節目の年だというのに、コロナウイルスの影響で全国各地で学校が休校になり、授業が進まなくなつたために浮上したのが9月入学案。結局、制度改正には問題点があまりに多く断念されました。

こんな状態で入試はどうなるの？そんな折、学校からの通信で、「先のこととは考えないといけないけど考えすぎてはいけない。不安を抱えるより今自分がすべき事を考え行動しよう」という先生からのコメントがありました。災害や感染症：何がおこるかわからない世の中、今後必要とされる人材は、思考力や判断力を備えた柔軟性のある人なのかもしれません。自分の考えをしつかりと持つて行動できる芯のある大人になってほしいなと思います。(西)

私たちの好きなこと



わたしはKinki Kidsのファン!

みねやま作業所 菊留歩実さん

堂本光一君も剛君も好きです。職員の霜尾さんがみねやまにいる頃、家でテレビを見ていてKinKi Kidsを知りました。よく聞いている音楽は「硝子の少年」や「スワンソング」です。最近「KANZAI BOYA」のCDを買いました。おすすめのCDです。あとは、木村拓哉君も好きです。再放送のロングバケーションを見て好きになりました。今はBG(ドラマ)を見ています。木村拓哉君の「Go with the Flow」のCDを買いました。おすすめです。



音楽をきくこと、ドライブすることが大好き!

ワークセンター花音 小牧 祥さん

ぼくの好きなことは、音楽をきいたり、車で買い物やドライブをしたり、スマホで車の画像を見たり友達とラインをしたり、好きな芸能人の画像を見ることです。テレビを見たり車の本を見るのも好きです。好きなアーティストはEXILE、KAT-TUN、キンプリ、芸能人では、朝日奈央、今田美桜さん、他はいろいろです。他に好きなことは、ゲームセンターで遊ぶことも好きです。喫茶班の仕事を頑張って給料を貯めて車を買いたいです。



好きなことはこれから探してみます!

伊根の里 嶋崎 雄介さん

私は昔は身体を動かすことが大好きでした。夏はウエイクボード、冬はスノーボードをやっていたけど最近はしていません。またやってみたくて、ちょっと怖いのでスピードが出ないようにゆっくりと乗りたいです。あと家の近所を一人で散歩するのも好きです。ほんとに家でゴロゴロしたいんだけど周りの人が運動したほうがいいのかって言うので仕方なく…。仕事もぼちぼちやっています。ま〜好きな女性の職員さんに会いに来ているようなもんですね(笑)。伊根の里に通所をしましてから3年半くらい経ち、あっという間に42歳になりました。まだまだ人生長いけど、何をしようかな〜。これから探してみます。



「きめつのやいば」が大好きです♡

支援センター るむ 谷口 奈央さん

私は、きりり2年目の谷口奈央です。4月に新しい仲間が来て先輩になりました。後輩に教えるのはとても大変ですけど、がんばっています。いちご会の会長にもなりました。今は夏祭りに向けてがんばっています。キャラクターコンテストもがんばります。司会もがんばります!! 私は、きめつのやいばが大好きです。歌が気に入っています。ねすこが1番好きです。缶バッチャやハンカチ、キーホルダーを集めています。きめつのやいばのウエハースやぶっちょを買うのが楽しみです。



わたしはジャニーズ山下智久さんのファン!

すまいる 間縞 ひろみさん

私は音楽を聴いたり、TVゲームをするのが好きです。ゲームの「テイルズ オブ シンフォニア」の対戦は面白いんですよ。

それと、ジャニーズの山下智久のファンで、山下君はイケメンで優しいところが好きかな(笑)。曲は「抱いてセニョリータ」をCDでいつも聴いているんです。仕事でお金貯めて、一度会ってみたいなあと思っています。作業場所が本町から万町に移る時は、不安で移るのがすごく嫌だったけど、みんなと話したり笑ったりと、楽しく下請班で頑張っています。



歌うことと踊ることが大好き!

夢織りの郷 つむぎ 岸本 望亜さん

「歌うこと。踊ること。みんなを楽しませること」が好きです。学校時代の発表会では、本番でしっかりと決め誰よりも目立っていたよ。今はドラえもんが好きで星野源やゆずをノリノリで聴いています。USAの踊りも好きです! いつか、大好きな歌や踊りをみんなの前で披露してたくさんの人たちを楽しませて笑顔にしたいです。これからもたくさんの仲間や職員と一緒にいろんな体験をしてチャレンジしていきます。